

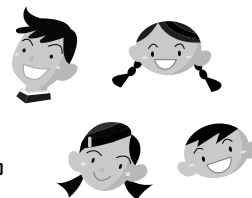
## 福祉協力校事業の紹介

市内の小中学校の児童・生徒に、ボランティア活動や身近な福祉活動を通して、福祉への理解と関心を高め、福祉社会を担う次世代の育成を進める事業です。皆様の社協会費を財源に、多治見市社会福祉協議会が教育関係機関の協力を得て、事業を進めています。

児童・生徒は、社会福祉協議会が行う事業への参加や協力と、各学校で行う活動や体験を通して、思いやりの心を育て、地域や社会に役立つ活動に取り組んでいます。

### 社会福祉協議会が行う事業への参加や協力

- 夏のボランティア体験……夏休みに福祉施設などでボランティア体験
- 福祉一行詩コンクール……福祉をテーマにした一行詩コンクールへの出品
- 赤い羽根共同募金……10月1日から全国一斉に行われる募金運動
- 年賀状交流事業……児童からひとり暮らしの高齢者などへ年賀状を送付



### 各学校で取り組む活動や体験

- 福祉施設などの見学や施設利用者との交流会
- 地域の高齢者などを学校行事に招待
- 地域や通学路の清掃
- アルミ缶やペットボトルのキャップなどの回収
- 点訳や手話体験
- 福祉施設などに物品の寄贈
- 車いす体験や高齢者疑似体験、視覚障がい者体験
- 地域や公民館の行事でのボランティア活動
- 活動や体験を校内新聞などで啓発、報告 など



夏のボランティア体験で車いす体験を行う生徒



## ひまわりサロンの活動紹介



### 旭ヶ丘第8町内ひまわりサロン(根本地域)

毎月第1金曜日に、旭ヶ丘8丁目集会所で地域の民生児童委員が主催し、地域の方たちが参加しています。サロンでは、開催する季節に合った歌を歌ったり、作品を作ったりと、季節感を味わいながら楽しく活動しています。参加者たちの誕生日には、絵が得意な参加者から、季節の花を描いた絵はがきが贈られ、参加者全員の楽しみの一つとなっています。

そのほかに、花見や紅葉狩りなどの季節行事、体操や介護予防などの健康に関する活動も行っています。



草もちを作り、みんなで味わいました。季節の歌を楽しみ、話も弾みます。